

経営革新取組支援事例（小型切り餅の開発と中華・洋食への拡販）

亀山商工会議所

【企業概要】

業種:和菓子製造販売業 従業員数:5名

支援テーマ・内容:[経営革新・ものづくり]小売店からメーカーへの飛躍

【支援に至った背景～経緯】

亀山商工会議所の支援としては、これまでベーシックなものが中心であったが、意欲的な後継者のもと、近年の食品偽装や東日本震災後の放射能汚染の問題など、消費者の食の安全性に対する関心の高まりもあって、最近はより技術的な支援にシフトしており、三重県の各種施策を積極的に活用して、高度・専門的な支援を受けることで更なる飛躍を目指している。

【支援の経過】

- 平成22年度上半期 県のEマークの認証前の商品カテゴリー確立支援
- 平成23年度下半期 経営革新計画の作成に関する支援
- 平成24年度第1四半期 経営革新計画の承認、ものづくり関連支援

【支援のポイント】

直面する課題の整理

- ・短期的課題:主力商品の利益貢献度アップ(利益率・稼働率の向上)
生産管理の徹底(食の安全・安心をハード・ソフト両面から)
- ・長期的課題:売上アップ(経営革新:商品開発と販路開拓)
味の追求とブランド化(产学連携:素材・加工技術両面から)
- 三重県のEマーク認証:地域特産もち米(県内産100%)で商品力アップ、
- 同経営革新計画の承認:新商品開発と季節商品の通年化・販路開拓、
- 専門的な技術支援:3S⇒5S⇒7S、□更なる品質向上への調査・研究

【支援の効果・成果】

○三重県知事による経営革新計画の承認(地元紙への記事掲載)

～自社の“強み”を“機会”へ～(SWOT:“商品力”⇒“食の安全・安心志向”)

1. 誰に(新たなターゲットの設定)

2. 何を(プロダクトアウトの発想

からマーケットインへの転換)、

3. どのように(他との差別化)と

コンセプトを明確にしたうえで、

さらなる事業を展開した結果、

三重県のEマーク認証の効果

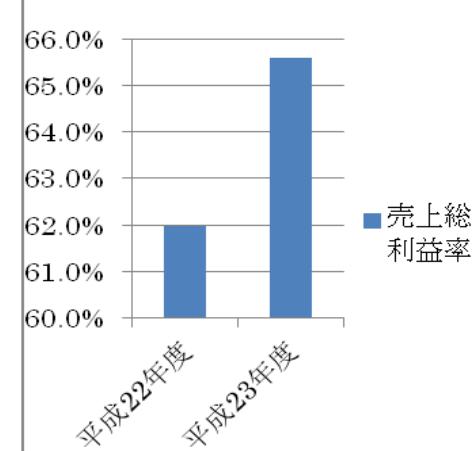
もあって、売上総利益率は対

前年比で4%アップし、同業界

平均よりも、高い水準をキープ

している。

売上総利益率



【支援策企業の声】

- ・経営面・技術面の両面についての疑問点が解消され、更に理解が深まるなど、知つておいて損はなく、非常に参考になった。
- ・三重県のEマーク認証事業はありがたい制度であり、同認証事務が終了とのことで非常に残念である。何か代わりの仕組み作りが望まれる。
- ・支援機関とともに策定し、県の承認を受けた経営革新計画に取り組むことで、今後、新たな事業を展開していきたいので、本事業活動を通じて、もっと三重をアピールできるような支援策などがあれば、積極的に活用したい。